

0411text について

0311textproject は、毎月 11 日の出来事を観察日記のように書く試みです。2011 年 3 月 11 日をスタートとして 1 年間続けていきます。プロジェクト概要を米光一成が skype と facebook で発表し、賛同者がメールで送ってくれたテキストをまとめたものです。

【フォーマット】

■1行目 日付:名前:場所:性別年齢:本文 ■本文は、その日のことを観察的に記す。300 字。算用数字はすべて半角で。

0311textproject の複製、配布、引用は自由です。

記名テキストなので改変は不可とします。

出所として以下の URL を読者が参照できるように明示してください。

こどものもうそう blog:0311text

<http://blog.lv99.com/?eid=1081543>

2011年4月11日:米光一成:東京豊島区:男46歳:つつましやかな近所の花見でひさしぶりにはしゃいでしまい目覚ましをかけず寝てしまって寝坊。会議をすっぽかしてしまう。謝罪の電話。夕方、仕事でもらったチケットで映画へ。到着した駅を出ると少し雨。折り畳み傘を買う。47席の小さい劇場。上映中に揺れる。けっこう揺れるが誰も立たない。両隣の人と揺れたねって小声で。劇場を出て(雨は止んでた)あれこれ雑談。「ブレードランナーの世界にはならないね」って言ったけど何きっかけで言ったかは忘れた。近所のカフェにひさしぶりに寄ってビールとトリッパ。**2011年4月11日**:小熊直人:東京文京区:男33歳:14時46分。Twitterのタイムライン上に「黙禱」の文字が並ぶ。「自分も黙禱しよう」と思うものの、仕事の電話がかかってきて気がつけば15時。東京や経済は日常に戻りつつあるのかも...そんな淡い期待も、17時過ぎから断続的に起こる大きな余震で吹き飛んでしまう。311の本震でヒビが入った郡山の実家は大丈夫か? 明日手術を受ける父親、オペ中に地震が起きたら? 土砂降りの雨もあってだいぶ気分が落ちてしまったが、郡山にいる友人から「結婚する」との報告を受けたことを思い出し、ちょっと持ち直す。「こんなときだからこそ家族を増やそうと決意した」という友人の話に、久々に『未来』を感じた。**2011年4月11日**:梅田徹:神奈川県横浜市:男41歳:自宅。朝の4時、夜通し娘の入園準備をしていたらしい妻と入れ替わりに目が覚める。PCを開き、ひと月で倍に伸びたブックマークをくって横浜水道局のサイトにアクセス。続いて横須賀のモニタリングポストへ。空間線量がどれも平常どおり昨年平均の2倍ほどの値で横ばいしているのを確認する。3月15日を境に始まった、これが新しい平常。新しい朝の日課。タイムラインをチェック。メールの返信を2通。窓の外が白んできた。布団に戻るも2度寝を断念。枕の下から携帯を掘り出し、6時半にセットしていたアラームを14時45分に変更。子供たちの寝顔に目をやりPCの前に戻る。**2011年4月11日**:深川岳志:東京杉並区:男51歳:朝、キッチンを片付け、チーズトーストを食べる。スーパーでパンも牛乳もふつうに手に入る。自宅仕事。14時46分、黙禱。17時16分、大きな揺れが来た。その後も小刻みに揺れが来る。椅子にあぐらをかいたまま逃げるべきかどうか見計らう。外は雨と雷。結局、仕事を続ける。PConlineで連載している「iPadで読む今週のお薦めコンテンツ」に311textProjcetのことを書く。田中理恵子「平成幸福論ノート」、読了。晩飯。垂水の親戚が送ってほしいかなごの釘煮を食べる。テレビで被災地のいちご農家の苦悩をみる。skypeで5月に予定されている電書関係のイベントの打ち合わせ。コンコンとノックの音。息子がPockyのストロベリー味をくれた。**2011年4月11日**:長崎友絵:東京板橋区・新宿区:女31歳:板橋区の自宅から新宿区の会社まで、昨日買ったばかりの自

転車で走る。9.5km、40分。6時台の明治通りは車が少なく走りやすい。神田川岸の桜が満開で、一瞬みとれた。淡々と季節は巡る。昼食は自作のサンドイッチ。20代女性2人との話題は昨日の都知事選と、高円寺での反原発デモ。選挙速報開始と同時に出た当確については「あれは萎えた」というのが共通見解だった。夕方、震度4の余震。雑誌の在庫棚と窓ガラスから離れるようスタッフに声をかけた。雨のため、自転車を断念して電車で帰宅。道中、Twitterで鷺沢萌の命日であったことを知る。帰宅後、夕飯の仕度。震災以来、土鍋炊飯が習慣となった。今日も上々の炊き上がりで満足。

2011年4月11日:高島知子:東京世田谷区:女33歳:外出する予定がない一日。きょうのわんこをその時間だけけうとうとして見逃す。お昼のインスタント坦々麺用に肉味噌をつくる。午後PCでテレビを流しながら許諾とりなどの作業、富山大学の先生とやりとり。突然のどしゃ降り。震災を受けて立ち上がったエールアートプロジェクトのレポートを書き、昨日知り合った女の子へメール。夕飯をさぼってサイゼリヤへ、夜は冷え込む。**2011年4月11日**(月)朝比奈綾:静岡県静岡市葵区:女38歳:ランキュラスの水を替えパソコンをたち上げる。わたしのタイムラインでは昨日の石原慎太郎再選を嘆く声がめだつ。朝、ツイッターを確認するのとテレビをつけるのが習慣になった。CDがみあたらないのでiTunesで斉藤和義を2曲ダウンロード、そのあとしばらくしごと。外にでると桜が散っている。花びらが陽の光に反射している。いいお天気。暖かい。14時46分黙祷。夕方、マンションの地震予報機が鳴る。また独りのとき。かすかだけど長い横揺れ。部屋が揺れているのか心臓がドキドキしてるのか、とっさに判断がつかない。急いでテレビをつける。今夜の映画は中止。1カ月、パソコンで動画をよくみた。体重は2キロ増えた。**2011年4月11日**:佐藤忍:東京目黒区:女59歳:渋谷区、新宿区。やけに消毒薬臭い高田馬場の街を歩いてピースボートの被災者後方支援ボランティアの説明会に出ると消防法に違反する程の収容人数がエレベータのドアまで達していた。そのあと仕分け倉庫を見学しに行くと大量の支援物資に埋もれた人々が真面目に勤労していた。往きに道を聞いた焼き鳥屋でプンプン匂うタレ味を12本買い二重袋に入れてもらう。ぶら下げたまま恵比寿の東京都写真美術館に行った。終わって地下鉄に乗ろうとすると地震の影響で全線ストップしていた。割とスグに復旧し四谷のギャラリーで焼き鳥をザラリと皿に広げた。今日の余震がヒドかったことを始めて知る。私は全然感じなかったと言うとあんたは不感症かねと誰かに言われた。**2011年4月11日**:松永肇一:三軒茶屋:男51歳:会社に来る途中にあるコンビニに入ると電池が復活していた。会社のエレベータは使わない。会社で脱いだ上着を自分の椅子にかけて、すぐ着られるようにしてる。お昼ごはんは遠出をせ

ず、出勤時に買ったものを食べてる。Twitter の画面を常時ひらきっぱなしにしている。トイレに立つときも iPhone は必ず持っている。各地の放射線量をグラフ化したサイトを見てる。地震情報のサイトで規模と回数と震源を確認してる。東京電力の電力消費量を取得するツールを作ったけど使い道がない。ここまで書いたら余震がきて、ビルがギシギシと音をたてて揺れたので帰る。塾にいった息子を奥さんが車で迎えに行くというので、ついでに駅に寄ってもらって一緒に帰宅した。**2011 年 4 月 11 日**:小嶋智:神奈川県横浜市→東京都杉並区:男 40 歳:暖かい朝で、通勤中の電車ですこし汗ばんだ。春が来た。今日は会議ばかりの日だが午後 2 時台はあいていた。2 時 46 分から自席でしばらく黙禱する。3 月 11 日もここにこうやって座っていたことを思い出す。twitter のタイムラインに黙禱のツイートが流れる。「twitter で黙禱を促された」といっているひとがいる。促すものではないだろうと思う。午後 3 時からまた会議。2 時間半ほどたった頃に、揺れ始めた。大きめの余震、19 階はゆっくりと横揺れする。少し酔う。午後 6 時過ぎ、電車の運行状況を確認し帰途につく。横浜は晴れていたが、杉並の自宅最寄り駅では雨が強く降っていた。セブンイレブンで傘を買って帰宅した。<!--2011 年 3 月 11 日:仔芝健:東京都目黒区:男 26 歳:-->**2011 年 4 月 11 日**:海猫沢めろん:東京都文京区:男 36 歳:昼から家でラーメンを食べてバイクのメンテナンス。図書館へ行ってからスーパーで買い物。風呂。わりと大きな地震が来て風呂がゆれる。本棚が不安だがだいじょうぶだった。夕食は唐揚げ。『すばる』の編集さんに『アニマルズ・ピープル』の書評原稿修正して送る。ちなみに本書はインドの汚染事故を下敷きにした小説なのだが、「それ以前」と「それ以後」に分けてしまうような出来事についての物語、という意味ではタイムリー。でも書評ではそういった部分には触れなかった。先日、文化系トークラジオ Life を聞いていて「それでも日常を維持することの強さ」(大意)について話していたのを思い出す。どちらかという自分も日常を維持する方向。連載原稿すすめる。このテキストを書きながら、もう一ヵ月なのかと思う。花粉のクスリを飲んで寝る。**2011 年 4 月 11 日**:柿崎俊道:東京都新宿区:男 35 歳:夕方に大きな余震。仕事が手につかない。18 時、とある芸能プロダクションに呼ばれ、打ち合わせへ。二子玉川駅で田園都市線が渋谷で車両事故とのことで 30 分、止まる。イヤになって帰ろうとするも、大井町線も溝の口駅で人が溢れかえった影響で、止まっている。八方塞がり。前日に都知事選が終わり、石原慎太郎に決まった。彼は「日本のために東京が貧乏になったっていいじゃないか」といったが、貧乏とはこういうことかもしれない。日本の高い生活レベルを維持したあらゆるインフラが劣化する。公共交通機関はいい加減になり、仕事から速さ・正確さが消える。夜は暗くなり、犯罪

率が上昇する。安全な空気と水は貧乏人には手が届かなくなる。つまり、東京は世界標準の街になる。と考えたところで、田園都市線が動き出した。

2011年4月11日: 中村隆之: 東京都国立市: 男 43歳: 朝、国立大学通りの桜が見事にきれい。人通りも少なく、思わずカメラをもって写真をとる。カフェのテラス席は桜が舞い大変気持ちがいい。昼頃から打ち合わせ先へ。お台場にあるその施設は震災のため、閉鎖され復旧工事が続いていた。打ち合わせの最中午後2時46分、場内放送と共に黙禱。車で会社に戻る途中、車中で大きな余震。しかし意外に車の中の揺れは恐怖心が薄い。その後も体感する余震があったが、みんな意外に落ち着いている。深夜11時過ぎに自転車帰宅、雨は小降り、風も冷たく、街は暗い。

2011年4月11日: 朝倉かすみ: 東京都豊島区: 女 50歳: 自宅。取材のため受けている某講座に行く予定だったが、持ち物をひとつ用意し忘れていたことに気づき、欠席。終日家で仕事。途中なんだか携帯の緊急地震速報が鳴り、なんかはつきりとした余震があり、そのたびテレビをつける。仕事中にのむミルクコーヒーにいれる大好きな牛乳「那須のおいしい低脂肪乳」が入手できず残念した。なるべく早い時間に行きに行かなければ売り切れると知っていたのに。サンシャイン牧場はレベル63に到達。今回、クエストはやらなかった。

2011年4月11日: 小長谷久子: 東京都世田谷区: 女 23歳: 14時46分、あれから一ヶ月。何か変わったかという、たぶん何も変わっていない。いつもと同じように、仕事をこなす。昼過ぎ頃、大きめの揺れを感じたその時、トイレの中にいた。一瞬ひやりとする。とりあえず落ち着け、と自分に言い聞かせ、ちゃんと手を洗って外に出る。皆、表に出ようとしていたので、とりあえず着いて行った。外は雨。一ヶ月経っても、現地はまだ復興どころではなく、事態の收拾はついていない。色々な情報を得て、考えた結果「今できること」ではなく、決して忘れずに長い目で見守っていこうと、この一ヶ月で決意した。

2011年4月11日: 安田理央: 練馬区: 男 43歳: いつもより早めの9時半頃に事務所へ。11時、某携帯サイトT氏打ち合わせ。昼は棒棒鶏弁当。小説一本、コラム一本アップ。17時、飯田橋のAVメーカーで新人女優取材。インタビュー中に大きな地震。中野からバスで帰宅。録画してあった「ブラタモリ渋谷」見ながらマグロのカマ焼きなどで晩酌。英国サイケのオムニバス聴きながら「今日の猫村さん」5巻など読む。缶ビール、缶チューハイ、フォアローゼスをロックで2杯。12時頃就寝。

2011年3月11日: 小川未来: 東京板橋区: 男 19歳: **2011年4月11日**: 岸田浩和: 東京中央: 男 35歳: 携帯の速報音が一斉に鳴る。あっ、来た。右隣のアシスタントに目配せすると、やれやれといった仕草で、紙コップのお茶を飲み干した。とりあえず、足元に置かれた青いヘルメットを頭に載せる。正面の新入社員

が、同期の仲間とふざけあって2個重ねて被っている。「頭長え」。ジワっとゆれ始めた。電話が鳴り、受話器をとる。「いつもお世話になっています」と普段の応対。大阪のお客は揺れていない。観葉植物の葉がバサバサ鳴り始めた。書架が軋む。大きいぞ。みんなのパソコンのキーを打つ、チャカチャカした音が止った。揺れは 20~30 秒ぐらいで収った。応接に居た来客が、「今日はひとまず帰ります」と慌てて出て行った。**2011 年 4 月 11 日**: 下司智津恵: 神奈川県川崎市: 女 43 歳: 先週から週に数回通っている仕事先に向かう。停止信号や列車間隔の調整で、たびたび停車。仕事先の最寄り駅では、液状化で出た水を吸い上げていたポンプが撤去されていた。ネットワークやプリンタの設定に時間をとられ、作業が進まないまま 17 時に退社。有楽町線に乗ってすぐに停車。緊急地震速報を受信したとのアナウンス後、隣の人の携帯から、聞き覚えのある緊急地震速報の音がし、まもなく揺れが来た。車内は静かなまま、数分後に、隣の駅まで運行すると動き出したが、駅についてすぐに運行再開。乗り換え駅で東横線を待っていたら、通勤快速を運転していた。帰宅にいつもより 30 分余計に時間がかかった。晩御飯はオムライスを作った。**2011 年 4 月 11 日**: 星野和一: 東京都千代田区: 男 31 歳: 先輩編集者と二人、雑誌の新連載の監修者に会いに、夕方、神保町から巣鴨へ。今後の仕事について相談している最中に iPhone の「ゆれくる」が鳴る。福島県浜通りで震度 6 弱との速報。10 秒ほどで予告通り揺れ始める。既に皆「大地震だヤバい」という危機感はない。仕事の話は中断し、「地震の時は何してました?」と雑談に。先輩は「漫画の取材で東京電力にいた」という鉄板ネタを笑いながら披露。相手は笑うわけでも引くわけでもなく興味深い顔で聞いていた。打ち合わせが終わり先方が帰ると、先輩が「地下鉄が止まってる」と言うのでタクシーで帰社。その後、ネットで赤い羽根災害ボランティア・NPO 活動サポート募金を知り、ツイート。**2011 年 4 月 11 日**: 藤山京子: 神奈川県町田: 女 26 歳: 取引先のスーパーにサンプルを渡しに行くため、小田急線に乗る。車内は節電で電気が消されて薄暗い。目的地につくまで隣の席の人がずっと地震の話をしている。商談ではバイヤーに「とりあえず売り場に置けるものなら何でもいいから持ってきて!」と頼まれる。先月までとの違いに改めて非常事態を実感する。相手先を出た直後、また地震。だいぶ大きい。震源地は福島という地震速報が入る。もしかしたら日本は滅亡するのではないだろうか、と思う。**2011 年 4 月 11 日**: 渡邊宏美: 東京都港区: 女性 33 歳: 地震で目が覚めた。会社に届いた AERA の見出しは『東電「解体計画」』だった。震災を機に週刊誌の見出しが気になる。石原都知事が 4 選を決めた。節電対策の具体例として自動販売機の停止を挙げていることが耳に残り、災害時用の自販機が気になる。ツイッターでは 14 時 46

分ぐらいから「黙禱」の文字が並ぶ。16時30分、空は暗く雨が降っている。一ヶ月前の今日雨が降っていたら徒歩で帰宅した人はどれくらいいただろう。17時16分頃再び大きな揺れを感じる。ツイッターには「ゆれる」「ながい」「でかつ」こんな文字が続いた。ヒールの靴しかない。傘もない。家に帰りペットボトルにためていた水道水の入れ替えをした。**2011年4月11日**:浦高晃:千葉県船橋市:男34歳:午前5時前悪夢の目覚め。不安、主に金銭的な意味で、親に無心したお金でカード会社の催促に応える…。出身校に頼んでいた成績証明書その他の送付願、三通目から送料が90円になるのであと10円送れと木で鼻をくくったようなメール、お前が電話口で80円って言ったんだよ！ 取り急ぎ二通だけ送れという。児童のクラスで更衣室でケンカ、両成敗。殴った方があとを引きずってベソベソ。おとなになれ！ レッスン中に余震、5分ほど様子を見た後レッスン再開。あとは以上なし、バスで帰る。イカ娘とおお振りの新刊を買ってしまう。おとなになれ！ ポケモンのプレイ時間がカnst。お(略)**2011年4月11日**:田中モトヒロ:東京都港区芝公園:27歳:朝の本数が震災前レベルまで復旧した小田急線で通勤。お気に入り登録しているサイトを巡回する。「近い将来起こることが予想されている宮城県沖地震も被害が最小限になりますよう、今から準備を怠りなく進めなければと改めて考えています」仙台のサッカークラブを応援するブログの、3月9日の記事。翌10日を最後に更新がない。他にもこの日から更新されないままのお気に入りサイトが4つある。入社すると、岩手県沿岸部出身の同僚から午前休の連絡。地震の日から週1・2回の頻度で半休や全休をとっている。朝礼で上司が「そろそろ地震の衝撃から立ち直らねば」と挨拶する。夕方5時すぎに、これまでで最大の余震がきた。何度も揺れる。さっきの上司が「危険だから早めに帰るように」と呼びかける。7時前に職場を出る。東京タワーのライトアップは先月から消えたままだが、大展望台の一面に「GANBARO NIPPON」という電飾文字が輝いていた。**2011年4月11日**:タカギタイキチロウ:東京中野区:男35歳:朝、ウンコを漏らす。お腹の調子が悪いのにトイレで読む本を探してしまったのが敗因。汚れたパンツをゴミ袋に入れる。一気にテンションが落ちて何もやる気が起きない。YouTubeにアップされている津波の映像を片っぱしから見る。明らかに危険が迫っているのにムービーを撮り続けてる人の心境を考える。昼から料理番組の編集。夕方、大きな地震。津波警報がでる。NHKでは漁港の映像、沖に避難する船。津波による被害をメディアを通じてしか見ていない。現実感がなくなってくる。どんよりとしつつ抗鬱剤と精神安定剤と睡眠薬を飲んで寝る。**2011年4月11日**:飯田和敏:東京都新宿区:男42歳:311から1週間は自宅待機。仲間と連絡をとりながら震災復興祈念ソフト「nagi」を作り

無料公開、5000DLされた。3月30日、ロフトプラスワンでイベント出演。「みちくさ」「私たちが望むものは」を歌った。4月3日、町山さん主催の花見に参加。500人の参加者と一緒に清志郎を歌いまくった。4月10日、普段お世話になっているロフトのスタッフに誘われ高円寺反原発サウンドデモに参加。成り行きで公園でスピーチした。目の前の群衆の真剣な眼差しと対峙した。震えたぜ。路上を練り歩き、すばらしいサウンドシステムに踊り狂った。そこで生きることの快樂を感じた。4月11日14時46分、黙禱。あとは原発の問題だ。しかし、その後、巨大な揺れ。まだ渦中である。**2011年4月11日**：加藤敦太：愛知県愛知郡：男23歳：頼んでいた『小鳩豆楽』が届く。思ったより甘みが薄く、きな粉の味が強い。『二人静』よりも大きくて、『二人静』よりも硬い。鎌倉の位置が分からなくなる。トイレに貼ってある地図を見ると、神奈川県にあった。何故か、きょうと・なら・かまくら、で憶えていたので驚く。午後は近所のスーパーへ買出しに。プライベートブランドの水500ml35円はあるのに、有名メーカーの水だけ品切れ。アルミボトルの炭酸水は手付かず。夜。バラエティ番組を観ていると、盛り上がりの瞬間にテロップで地震の速報が入った。先月取引した石巻の方からの返信はまだ来ない。

2011年3月11日：三浦天紗子：東京都新宿区：女性46歳：
2011年4月11日：近藤英明：埼玉県さいたま市：男45歳：今日も大きな地震があった。自宅付近の天候は夜にかけて雨と風。昨日、近所の桜並木では、丁度桜が見ごろだったが、この風でだいぶ散るのでは。だが、風というと放射能放出の方向に注意が行く自分がいる。SPEEDIによる放射能の影響図は、アメリカでは発表されているというが、ネットでうまくとどりつけず。近くのスーパーではティッシュやトイレトペーパーはぎっしりと補充されるようになった。しかし、まだ飲料水の棚は空が目立つ。なぜかカフェイン類の大型ペットボトルは売れ残りが多いようだ。スーパー内の電源も節約で暗い。日経平均は震災当日は10254円。今日は9719円だった。**2011年4月11日**：高須正和：東京豊島区：男36歳：自宅(豊島区)余震で目覚めるしばらくニュースを確認後、取引先の会議へ向かう。(自転車で移動)午後に会社(東京都文京区)に出社。余震の影響はなく、通常通り業務をこなしていた。22時頃まで勤務して帰宅。帰り路でスーパーに寄るが、納豆などのいくつかの製品がいまだに入荷が乏しく、フルーツグラノーラなどは生産を中止しているようだった。**2011年4月11日**：千野帽子：京都市中京区：男46歳：洗濯物干して朝食準備。細君が猫を洗ってくれたので乾かすのを手伝う。マンション理事会出席後、明治屋に。高瀬川の桜が綺麗。ヨガスタジオで「アシタンガ」、他人の体の柔軟さに驚くが、私の体が固いだけだ。帰宅後、明日の弁当用に手羽元と白葱のオイスターソース煮、牛蒡と人参の塩

金平を作る。玉子を茹でつつ NHK 出版にメール返信書いてたら、東日本で地震の報。Twitter やってない知人を心配したが、メールが来て一安心。ポロニーゼと茹でグリーンアスパラで夕食。日経ビジネスアソシエのゲラ PDF の今日マチ子さんの挿画に見とれる。校正は他にユリイカ角田光代さんインタビュー、ミステリマガジン連載。サルトル『分別ざかり』読了。**2011 年 4 月 11 日**: 島影真奈美: 東京新宿区: 女 37 歳: 仕事関係の花見があり、外出する準備をしていたところに余震。念のため実家に電話。すんなりつながる。最初に電話に出たのは父親。「津波てんでんこ」の重要性を説かれる。途中、母に交代。ヘルメット購入をアドバイスされる。でも、実家では緊急持ち出し袋を今も用意してないそう。花見の待ち合わせ場所に向かう。強い雨と寒さにくじけたところで、素浄瑠璃の太夫から着電。高田馬場のホルモン焼き屋へ。「ホッピーと白いごはんください」と注文して笑われる。六代目三遊亭円生と八代目林家正蔵のリレー落語「眞景累ヶ淵」の CD を借り、帰宅する。**2011 年 4 月 11 日** katsumaki: 東京都港区: 女 25 歳: 自宅。朝は 7 時過ぎの地震の揺れで目が覚めた。震災以来、今まで考えなかったことを考えるようになった。今日も原発、選挙、無関心、デモ、物事の主張の仕方について考えた。そうしているうちに大きな地震がきた。さらに小さな余震も。すっかり油断していたので驚いた。徐々に地震酔いが復活して気持ち悪くなった。でも我が家の猫たちは確実に地震に慣れているようで、少々大きな揺れや連続した余震にもほとんど動じなくなった。18 時すぎに外に出ると、今日も看板の照明が消えた暗い街。いつの間にか暗い都会の夜の風景にも慣れたみたいだ。**2011 年 4 月 11 日**: 東京都文京区: 山田新: 男 41 歳: 会社: 新聞で前日の高円寺の反原発デモのニュースを探すが見当たらない。ネットではかなり話題になっていたが、何故だろう? たしかに主張が見えにくく、ただ騒ぐだけのようなデモだったが。。会社へ。取引先との打ち合わせ中に大きな地震。すっかり余震に慣れてしまっている自分がある。しかし、取引先の方、ご主人が警察官でいま福島にいるとのこと。いまこのときにも危機に直面している人もいるのだと改めて思う。帰宅後、音でも出してストレスを発散しなければフリークアウトしそう、ということで、友人とスタジオ入り。地震や原発のことで煮詰まった頭を少しすっきりさせる。**2011 年 4 月 11 日**: 木村裕之: 東京都中央区銀座: 男 30 歳: オフィスの 5F。縦の揺れが始まった。今度の余震も大きく長い。女の子が騒ぎ始めた。自分も古いオフィスビルの 5F にいることでいつもより不安を感じた。しかし大きな地震にはこの一ヶ月慣れてしまったのであまり何も考えずに過ぎ去るのを待った。揺れが収まり、ヤフーの地震速報を見た。マグニチュード 7.1、震度 6 弱。震源は福島県浜通り。福島第一原発がとても気になった。周囲にテレビはない。最近は

携帯の地震速報からも連絡はない。外を見ると暗く雨が降っていた。**2011年4月11日**:唐木厚:東京都文京区:男46歳:震災から一ヶ月、はじめて新聞のトップが震災以外の記事になった。統一地方選。でも、平常時になってきたとはとても思えない。午前中は、会社で会議。夕方から、文学賞の授賞式に行く。選考委員のスピーチ中に突然、大きな揺れ。今回の余震は大きく、一分以上揺れが続いていたように感じた。深夜帰宅。コンビニに夜食を買いに行く。一時はすかさずかだったコンビニの棚も、やっと充実してきた。でも、まだ2リットルサイズの水のペットボトルは見かけない。**2011年4月11日**:小林央:東京都千代田区:女30歳:古いビルの7階にある職場で入稿準備をしていた。外は雨。かなり激しく降っている。17時20分前。「入稿は明日にしよう」と部下に伝える。揺れ始めた。長い。棚が大きく揺れている。職場の仲間はそれぞれ、前回地震で倒れた棚を押さえている。「福島で震度6強!」と、別室でテレビを見ていた社長が大声で叫ぶ。何も倒れなかった。私はすぐに会社の電話を使って実家(福島)に連絡を取ろうとした。「公衆電話でしてこい」と、社長からテレホンカードを渡される。エレベーターは作動していた。外に出ると、いつもと変わらない風景。近くの公衆電話にはすでに人がいた。しかたなく別の公衆電話まで走る。電話はすぐにつながった。**2011年4月11日**:佐藤福子:静岡県沼津市:女33歳:静岡県県議会選挙、沼津市の投票率の低さに愕然とする。予想通りの候補者が当選したからか、喫茶店のお客さんの話題は石原再選のほうが多い。さすがに常連さんたちの年齢層が高ただけあって、よかったわ、安心したわ、とか言っている。驚きと落胆を隠せない。その後はやはり震災から一ヶ月、早かったのか長かったのかわからないという話に。原発の話になると、廃炉にしなくちゃだめよ!と、さっき石原さんが再選してよかったわと言っていた人まで息巻いていた。夕方、揺れ。

0411text

0311text project

2011年4月13日

追記 2011年4月22日

編集：米光一成

<http://blog.lv99.com/>

こどものもうそう blog : 0311text

<http://blog.lv99.com/?eid=1081543>